



精神科に移った。精神科医としてもう一度やりたいことがあった。臨床は精神疾患中心で、うつ病を多く診察するようになった。以前以上に生体リズムの問題が臨床で大きな問題となっていると感じている。新しいことを立ち上げるのはしんどいようにも思ったが、再び初心にかえって、うつ病および躁うつ病の時間生物学的病態と新たな治療法の開発を目指すこととした。この歳になって、成功を信じるのには勇気がある。それでも、まだここには書けないが、新しいことを考えているのは楽しい。来年の学会にはpreliminaryな結果が発表できるだろうか、それとも再来年になるか。毎日わくわくして過ごしている。